

歯周病は歯を支える骨が溶ける病気です

歯周病は歯周病菌による感染症であり、歯の周囲組織（歯肉、歯を支える骨など）に炎症が起こります。炎症の広がりにより、歯肉炎と歯周炎に分かれます。

- 歯肉炎…歯肉に炎症が起こり、赤く腫れて出血しやすい状態。骨の破壊はみられない。
- 歯周炎…歯を支える骨が破壊され、歯と歯肉との間に歯周ポケット（溝）ができる。



お口の健康は全身の健康に影響します

歯周病はギネスブックに載る人類史上最大の感染症です。

歯周病になるとサイトカイン（炎症性物質）が分泌され、糖尿病、動脈硬化、アルツハイマー型認知症などが悪化します。特に、糖尿病やコロナ肺炎の重症化などは歯周病との因果関係が明確となっています。

日本糖尿病学会が発行した「糖尿病診療ガイドライン 2019」によると、2型糖尿病患者に対する歯周治療を行うことは、歯周病の改善だけでなく糖尿病のコントロールにも有効であるといわれています。

